# 毛里田の風

## 9月号



**法人理念**: 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

法人使命:「志と誇りを高く!自分も周りもしあわせに!そして、円満へ。|

\*仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

#### 施設運営の方針

「安心してやすらぎのある生活」を送っていただけるよう施設サービスの充実に努めます。

#### 9月の行事予定



手作りおやつ



9月のお誕生者様

村田様85歳鈴木様83歳前原様80歳









«真剣な面持ちです!»



8月19日14時30分より、ダイヤホールにて「お盆の供養」が行われました。



<u>皆様お焼香が目の前に</u> 来ると、手が伸び、 一つまみ。その手を オデコまで運び目を閉じ ていました。











ご家族様へ

面会方法を状況により変更させて頂いております。途中、文書で通知させて頂いておりますが状況によっては文書を出す間もなく変更せざるを得ないのが現状となっております。面会の事前連絡は当面の間続けさせていただきますので、連絡の際に変更等は 伝えさせていただきます。ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが引き続きご協力をお願いいたします。

\*お願い\*ご自宅に眠っているゲームや本などがございましたら、寄付していただけるようお願い申し上げます。

介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

〈ご案内〉月曜日から金曜日の平日9時~17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

**連絡先:0276-56-9357** 介護支援専門員:石原ひろみ

#### ダイヤより









### 不安を生きる力に 長谷川和夫先生「100の言葉」から 大事なのは今を生きること。 今日ある今を生きること。

認知症医療の第一人者であり、長年「認知症になっても心は生きている」と訴え続けてきました。医師として認知症の人や家族に寄り添い、認知症ケアのあり方を示してきました。そして、自らも認知症となった今も認知症と生きるその姿が、多くの人々の共感を呼んでいます。

スペードより

8月26日に夏祭りを行いました。コロナウイルスの 影響で外部のボランティアを呼べないので、 カ ラオケ・カラオケ体操・ボール投げ・スイカ割りを しました。たこ焼きは外で焼き、いい香りが施設内 に入ってきました♪













#### クローバーより







8月は連日猛暑日の暑い 夏でしたが入所者様は毎 日元気いっぱい  ${}^{\circ}$ 午後のレクリエーション活 動ではゲームや歌、体操 納涼祭ではスイカ割りに運 動 等々、大いに遊んでたく さん食べて 満点の笑顔で 楽しまれました ⑤









看護より

担当:小林志奈子

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが…

天候が変わりやすいこの季節は、体調を崩しやすくなります。その原因は、冷房や冷たい飲食物による冷えによるもの。 冷えにより自律神経のバランスが乱れ、秋口まで不調が続く「秋バテ」を感じる人が増えてきています。

「夏バテ」とは夏の暑さで体力や食欲が低下し、疲れやだるさなどの不調が現れる暑気あたりのこと。通常は涼しくなってくると解消しますが、夏の生活習慣による冷えが原因で自律神経のバランスが乱れ、秋口になって症状が出る「秋バテ」もあります。秋バテの原因は大きく分けて2つ。1つめは、厚さや節電対策のため、冷たいものを摂りすぎて胃腸の機能が低下した「内臓冷えタイプ」。2つめは、冷房の効いた室内で長時間過ごしたための冷えや外気温との温度差のため、疲れやだるさがおこる「冷房冷えタイプ」です。どちらにしても、身体を冷やしすぎてしまったことで全身の血の巡りが悪くなり、引き起こされます。





納涼祭でたこ焼きを焼く様子です。 峠を越えたとはいえまだまだ暑い中、日焼けを気にしつつ がんばりました。

> 来月からは手作りおやつや、入居者様と一緒に作る手作りの食事に力を入れていくつもりです。 次回からは産休の明けた元の栄養士さんに担当が変わります。ありがとうございました。

特養毛里田では食の安全を重要視し無農薬・化学肥料不使用で作った野菜を取り入れてます。

作っているのは『のりさん農園(管理栄養士本人)』です。

もともと採算度外視でやっていますが 今年は野菜が高騰しているためその 意味は大きかったです。

